

12月4日～10日は人権週間



国際連合は、昭和23年12月10日に世界人権宣言を採択し、昭和25年には、世界人権宣言が採択された日である12月10日を「人権デー」と決めました。

昭和24年以降毎年「人権週間」を中心に、各地でさまざまな啓発活動が行われており、本市では、今年も人権啓発作品の展示や表彰式などの人権啓発イベントを実施します。

令和3年度「ラブミン人権啓発作品」最優秀賞受賞者

絵・ポスター

小学生の部

- 1年 池田小 境 初音さん
- 2年 託麻北小 宮崎 涼帆さん
- 3年 託麻北小 広瀬 まゆさん
- 4年 城西小 若松 憲生さん
- 5年 力合小 田口 陽菜さん
- 6年 秋津小 高木 苺子さん

中学生の部

- 1年 湖東中 本田 あんさん
- 2年 江原中 宮里 友南さん
- 3年 出水中 洲上 ことはさん

入賞作品展示

入賞作品(優秀賞以上)を下の予定で展示します。

展示場所 市庁舎1階ロビー

展示予定期間 12月1日(水)～10日(金)

※土日除く

近くの公設公民館でも展示します。

短いメッセージ

小学生の部

- 1年 川口小 しらいし りなさん
- 2年 帯山西小 村上 颯紀さん
- 3年 出水小 山口 拓真さん
- 4年 託麻南小 奥村 亮太さん
- 5年 龍田西小 坂田 大和さん
- 6年 帯山西小 宗村 紗奈さん

中学生の部

- 1年 富合中 服部 天飛さん
- 2年 城南中 穴井 ひなたさん
- 3年 桜山中 甲斐 佳奈恵さん

一般の部

- ポスター** 尚綱高校1年 板見 明日菜さん
- 絵手紙** 土黒 真由美さん
- 詩・メッセージ** 「心の花」 田中 厚次郎さん

詩

小学生の部

- 1年 壺川小 三浦 拓真さん
- 2年 城南小 高濱 けいすけさん
- 3年 龍田小 古谷 太一さん
- 4年 桜木小 川崎 空さん
- 5年 本荘小 高宮 かりんさん
- 6年 春竹小 荒木 くららさん

中学生の部

- 1年 飽田中 土穴 凧砂さん
- 2年 出水中 秋吉 美宏さん
- 3年 文徳中 松本 里朋さん

- 標語** 「優しさが みんなのハートに あふれてる」 甲斐 清美さん
- 川柳** 「飛んで行け 差別という名の シャボン玉」 信愛女学院高校3年 折田 菜摘さん
- 肥後狂句** 「通学路 後の世担う 子等ばかり」 永田 精男さん

(人権政策課 ☎096-328-2333、人権教育指導室 ☎096-328-2752)

2050年温室効果ガス排出実質ゼロを目指します！

地域が一体となって地球温暖化対策に取り組むため、今年3月、熊本連携中枢都市圏を構成する18市町村共同で「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を目標とする「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画」を策定しました。今後、18市町村が連携して、より効果的に脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。

COOL CHOICE 地球温暖化対策のための賢い選択「COOL CHOICE」※に取り組みましょう

※「地球温暖化」を抑えるために、「温室効果ガス」の排出が少ない製品やサービスを選び、行動すること

- ①住宅における省エネルギーの推進** 省エネ家電やLED照明への買い換え、省エネ住宅への建て替えやリフォーム
- ②事業者の省エネルギーの推進** 省エネ設備の導入、事業所の省エネルギー建築物への建て替えやリフォーム
- ③住民・事業者のエコカーの活用** 電気自動車やハイブリッド自動車等のエコカーの活用
- ④スマートムーブ** 移動時の公共交通機関の活用、徒歩や自転車の利用

(温暖化・エネルギー対策室 ☎096-328-2355)

市長とドンドン語ろう! 産業版

7月20日に「市長とドンドン語ろう! 産業版」を開催しました。

中心市街地の魅力向上策について

拡大するビジネスではなく、下り坂を豊かに下るやり方もあると考えている。それを追求して、庭や屋上などの空間を共有していくと豊かな暮らしができるのではないかと思います、ビルではなく小さな建物を作った。

今は「高さ」や「容積率」など、「増やす」ことが優遇されているが、「小さく」または、「広く一般に開かれた場所」を作ることにインセンティブが働くようになると、街全体の豊かさは増すのではないだろうか。



拡大一辺倒の優遇措置は変えていくといった話の中で、逆に縮小することを優遇し、質を高めていくといった発想は今までありませんでした。建物を「小さくする」ことや、「建てない」というのは、安全な街中にもつながっています。このように発想を転換することで、本市の新たな魅力や強みを引き出すビジネスの手法が生まれていくのではと考えています。

コロナ禍において、工夫して新たに取り組んでいること、感染の抑制に関する取り組み、行政に求めることをお聞かせください。



2019年に日本全国から祭りを集めた「祭りアイランド九州」を開催した際、雨だったにもかかわらず、シンボルプロムナードには多くの人が訪れ、ものすごく盛り上がる事ができた。

熊本の人には地元愛が強いため、同じように県内各地の祭りを集め、「花畑広場」や「熊本駅前」を拠点にアフターコロナのイベントとして開催できないだろうか。

駅前とシンボルプロムナードで別の企画を展開し、そこに行くことが目的となることで、人が行き来するきっかけをつくるのは良いアイデア。それぞれの場所で違った祭りを展示し、みんなの気持ちが晴れやかになるような新たなにぎわいが創出できれば、人流の増加とともに本市経済の活性化につながると考えています。



※内容は開催日時点のものです。